

## 黒岩 岳雄

(ふらの未来の会)

### 防災計画の見直しは

**問** 「富良野市地域防災計画」は各種災害に備えたものだが、避難施設や弱者施設等の現状把握と対応策、電力喪失や上水道施設損壊時の対応策、減災のための民間施設の一時避難所等の活用、行政と市民の役割分担等の内容を含めて、整備と充実を図り見直すことの必要性は。

**答** 防災計画は毎年見直しをしており、最新の見直しは平成23年7月である。質問の内容を含め、防災会議にて十分な審議をいただき見直しをする。

### フィルムコミッションを活用した富良野の魅力発信

**問** 国内外からの映画、テレビなどドラマ制作の協力依頼に対し、地域の窓口となるフィルムコミッションの取り組みは。

**答** 地域の魅力を発信する機会として、メディアを通じた映像の放映は有効な手段として認識

している。関係する団体などで構成されている「富良野市国際観光促進協議会」を窓口にして、的確な受け入れ判断を図る。



口ケ施設での記念イベント

### 観光ガイドの認定制度創設は

**問** 観光ガイド育成に向けて、市民に対し観光の知識やコミュニケーション方法などを学んでもらう研修は。

**答** 富良野市観光振興計画において「観光認定ガイドの認定」や「観光マイスター制度の登録」については、数値目標を掲げている。

今後、観光関係者、市民に協力をお願いし、地域の魅力を伝えるための研修機会の充実に努める。

## 渋谷 正文

(ふらの未来の会)

### 林業政策

**問** 不在森林所有者の実態は。

**答** 本市の不在森林所有者は、一般民有林約4830ヘクタールのうち、333人で1855ヘクタール。道内所有者215人、道外所有者118人、海外者はいない。これら不在森林所有者のうち、面積で約6割、戸数で約3割の森林について、森林組合と長期受託契約を交わしている。



富良野市民植樹祭

**問** 官民一体となった森林整備の見解は。

**答** 今後とも森林組合・上川総合振興局南部森林室富良野事務所と連携して、森林所有者に森林整備を促すとともに、国有林も含めた官民一体となった森林整備の有効性を確認しながら、森林整備を進めたいと考える。

**問** 公共建築物における森林バイオマス燃料の推進は。

**答** 森林バイオマス施設設置補助の可能性、維持管理費の妥当性、資材の安定的な供給などを総合的に勘案しながら検討していく必要があると考える。将来における暖房器具、燃料の市内製造の可能性は、森林バイオマス燃料活用の関心が高まる必要があると考える。関係者と話し合いを進め、普及促進に努める。

### 環境に配慮した教育施設

**問** 今後のエコスクール導入に向けた考え方は。

**答** 木質構造は、温もりや快適性、調湿効果により子ども達の心身へ好影響を与えている。今後においても、本市の特色を活かした環境や省エネルギーに配慮した学校施設整備を進めたいと考える。